



同28日、いよいよ田植えが始まりました。乗用の田植え機では作業ができないため、手押しの田植え機による作業です⑤。

5月2日、地元の福田第一小学校の5年生たちが訪れ、わいわいと田植えも行われました。最初は足をとられて、こわごわ田んぼに入っていたみんなでした⑥が、だんだんと慣れてくると、泥だらけになりながらも苗出しが間に合わないぐらい楽しんだようです。

7月17日、ようやく穂ができました⑦。

同24日、福田第一小学校の児童たちが、生き物観察会にやって来ました⑧。初めての体験に「シオカラトンボ、ザリガニ、メダカに触れ合うことができてよかった」「大勢で夜、自分たちの作ったお米のある江川へ行くと、たくさんのおタルに会えた」「(今後)江川地区の生き物を調べてみたい」などと感動した様子が観察ノートに見られます。

そして、8月28日、いよいよ稲刈りです⑨。コンバインが田んぼを行ったり来たりしながら、次々に稲を刈っていききましたが、9月5日には福田第一小学校の5年生がやって来て、手で稲を刈りました⑩。途中からにわか雨となったものの、みんな元気に稲刈りを終えました⑩。

稲刈り後の田んぼは、しばらくは眠りにつきます。20年度は、さらに4ヘクタール面積を広げ、試行的ですが、市民の皆さんにも自然観察会を開催しながらお米作りに親しんでいただく計画です。